

大学生の痩せと生活習慣に関する縦断調査 ーサルコペニアの要因探索と予防法開発ー

本研究へのご協力をお願い

研究責任者: 滋賀大学 保健管理センター
所長、教授 山本 祐二

【研究目的】

日本は世界でもトップクラスの長寿国として知られるようになってきました。一方、高齢者が増加する中で、要介護(要支援)認定高齢者は600万人に達し、今後さらに増加することが予想されています。要介護(要支援)となる原因として、骨折・転倒が全体の1割以上を占めています。サルコペニア(骨格筋量減少と筋力低下・運動機能低下)は、骨折・転倒の主疾病の一つとして注目されています。

一方、近年のダイエットブームなどにより、若年者の中で「やせ」の割合が増えていることが問題になっています。極端なカロリー制限、不規則な食生活、運動習慣の減少は、若年者の体組成変化(体脂肪は増加し、筋肉量は減少する)をもたらし、若年者においてもサルコペニアを合併する恐れがあります。昨年実施した調査では、大学生に筋肉量が少なく、なかには筋力も低下しているものがあることが明らかとなりました。

以上のことから、肉体的にも成長過程にある大学生において、体組成、筋力、食生活、身体活動の状況を把握することは、極めて重要なことと考えられます。本研究の目的は、若年者におけるサルコペニア有病率とその特徴を明らかにし、効果的な栄養・運動指導法を開発することです。

【対象者】

令和2年度学部1年生および2年生で健康診断を受診する者

【利用させていただく情報】

健康診断で評価される下記項目 (令和元年度の情報がある方はその情報を含みます)

(問診) 既往歴、家族歴(糖尿病、高血圧、脂質異常症、癌、その他について)

(身体計測) 身長、体重、体格指数(BMI, body mass index)

(血圧・脈拍) 収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍

追加の検査項目

(体組成計測) 体脂肪率、四肢骨格筋量、骨格筋指数(SMI, skeletal mass index)

(筋力測定) 握力

(質問紙調査) 栄養調査(BDHQ, Brief-type self-administered Diet History Questionnaire)

活動調査(IPAQ, International physical activity questionnaire)

(毛髪性ホルモン) 毛髪テストステロン、毛髪エストロゲン(*毛髪採取に同意された方のみ)

裏面もお読みください

【個人情報について】

健康診断を受診した学生の個人情報は厳重に管理します。本研究成果を学会、研究会、論文などで発表することがありますが、個人が特定できるような情報は厳重に秘匿され、公開されることはありません。

本研究で得られた情報は保健管理センターが管理する個人診療録に保存され、保健指導に活用されます。

本研究で得られた情報は将来研究等に利用されることがありますが、その時は利用目的・方法および情報を利用されたくない場合の手続きについて、滋賀大学保健管理センターのホームページ上でお知らせします。

【留意事項】

本研究は、健康診断や追加検査で得られる情報を利用する観察研究です。侵襲性はなく、毛髪採取に同意された場合でも軽微な侵襲に止まります。

本研究への参加は任意で、参加されたことに対する謝礼や保険はありません。なお、本研究への協力を希望されない場合も不利益をこうむることは一切ありません。特に学業成績評価などに関連されることはありません。

本研究は、滋賀大学保健管理センターおよび三学部の研究室、京都大学大学院医学研究科(中尾一和)、国立病院機構京都医療センター(日下部徹)による共同研究であり、滋賀大学研究倫理委員会で審査を受け滋賀大学長より承認されております。

本研究に関し詳しく知りたい方やご質問がある方、また一旦なされた本研究への参加同意を撤回されたい方は、平日の9時から17時の間に下記までご連絡をお願い申し上げます。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【問合せ先】

〒522-8522

滋賀県彦根市馬場1丁目1-1

国立大学法人 滋賀大学 保健管理センター

所長、教授 山本 祐二

電話:0749-27-1024(彦根地区)、077-537-7709(大津地区)

*この研究に関して、研究者等の研究に係る企業等との関わりや、研究結果や対象者の保護に影響を及ぼす可能性のある全ての経済的利益関係等の利益相反の状況はありません。

(注)利益相反とは、外部との経済的あるいはその他の利益関係等によって、当該研究を実施するにあたり必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を言います。)